

高輪地区情報紙

2008年2月

Vol. 5



あなたの街

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 地区政策課

7 大使館探検隊番外編/風の子サッカークラブ
 6 町工場の歴史と職人達
 5 わたしたちの街の巨木・保護樹木
 4 最初のイギリス公使館 高輪東禅寺
 3 シャンソン歌手 石井好子さん
 2 頌栄女子学院弓道部/伊皿子睦会



漢字のイメージをデザインにした朝日中学校2年生の作品です。それぞれ虹、走、櫻、牛、馬、雨を表しています。

きれいな街に

高輪地区を散歩すると、ごみの少ないきれいな街だと感じます。読者の皆様はどのように思われますか？ もちろん地区により、多少のきれいさの違いはあるでしょうが。

しかし、実際、自分で家の前を掃除してみると、ごみの少ない状態をずっと保つことは、なかなか大変だなぁー、と実感します。投げ捨てられたタバコの吸い殻、菓子の空き箱、紙くずなどがあとをたちません。では、なぜきれいな街に保たれているのでしょうか。実は、こんな人達がいます。

ある日、朝早く起きると、一人でもくもくと道路を掃除している方を見かけました。しかも、自分の家の前だけ、というのではなく、かなり広い範囲を掃除しているのです。話をお聞きすると、寒い日も暑い日も、自分の意志で、毎朝掃除をされているそうです。本当に頭が下がりました。こういう方が高輪地区には何人もいらっしゃるようです。

また、自分の家の前の道路を掃除している人も大勢います。それに、パトロールしながら、ごみ拾いをしたり、公園や道路の清掃に力を入れている町会もあります。

小学校や中学校では、学校周辺を定期的に清掃しているところ

もあります。町会等を中心とする諸団体で構成する高輪地区生活安全・環境美化活動推進協議会は、「文化財と緑の清掃キャンペーン」、「クリンクリン大作戦」などで街の環境美化に努めています。もちろん、高輪地区総合支所でも毎日清掃を行っています。なにげなく歩いている街にごみが少ないのは、実はこのように多くの住民や組織の努力の成果であることに驚きます。

アイルランドでは、「小さな美しいまちコンクール」というのが毎年開催されています。観光客を誘致するためのごみ拾い運動から始まったそうです。どのまちが最も美しいか競いあうのです。評価のポイントは、ごみの少なさ、地域の景観のまとまり、花や緑の手入れ、環境に対する配慮など多岐にわたっています。そして、このコンクールのおかげで美しいまちが保たれているようです。

わが高輪地区もごみが少ないだけでなく、花や緑をもっと多くしたい、街の景観にそぐわない看板や広告の貼り紙はないだろうか、建物の外観の調和はあるだろうかなど、よりグレードの高い美しい街にするために点検することは、まだまだあるように思えます。

アイルランドにならいい、われわれ高輪地区の住人も自分たちの住む地域についての意識を高め、きれいな街を目指していきたいですね。

心と礼を磨く頌栄女子学院弓道部



「ヨッシャー」と威勢のいい声が響く頌栄女子学院の弓道部の練習場を訪れました。練習場は3階の校舎の屋上にあります。部員は全部で75名と活発なクラブです。その日は、凛々しい弓道着を着た20名ほどの高校生が練習の真最中でした。6人並んで矢を射て、的に当たると、「ヨッシャー」のかけ声が弓道場に響きわたります。「ヨッシャー」は「良い射」という意味で、このかけ声は学校により違うそうです。

頌栄女子学院弓道部は昭和40年代に創立され、40年以上の歴史があります。その間、東京都大会などで何度も優勝するなど、毎年よい成績を残しています。

弓道の基本は「礼」ということで正しい姿勢や礼儀が弓道の採点でも大きな要素となっています。矢の順番を待っている人もきちんと正座をしています。矢を射る人、待つ人すべてが凛々しい姿勢を



しており、そのまま美しい絵になるような光景でした。

その日は、週1回こられる外部の指導者である福島さんが細部にわたり厳しい指導をなさっていました。

中学に入ってから初めて弓道に接する生徒がほとんどだそうです。弓の上達は身体の大きさや力の強さで決まるのではなく、姿勢や力の入れ方にコツがあるようです。また、単に技術だけでなく、強い精神力と集中力が求められます。

高校生の部長さんからお話をお伺いしました。

弓道部に入られた動機は？

「矢を射る姿がかっこよかったからです」

練習はきついですか？

「ほとんど毎日2時間の練習ですが、とても楽しいです」

部の皆さんは仲がよいですか？

「部活の友人は、何年間も毎日顔を合わすので、クラスの友人より親しくなりやすいです」

勉強との両立はできますか？

「試験の合間の日に大会がある時は、大変だと思っていますが、どちらも集中すればなんとかなると思います。」

福島先生の指導はきびしいですか？

「自分で気がつかないことを指導され、涙が出るほど感激したことがあります」

弓道は日本の文化の基本である心や礼儀を養うスポーツで、これで鍛えた「やまとなでしこ」たちが社会にでて大活躍したら素晴らしいですね。

いぶし銀のような伊皿子睦会にエール

伊皿子睦会は、伊皿子交差点付近から高松宮邸近くに至る地域（高輪1丁目5番の一部、高輪2丁目1番の一部）を範囲とし、会員は50世帯と比較的小さな町会です。

町会の運営や活動のお話を久永会長と役員の木下さんにうかがいました。

町会の大きな行事の一つはフリーマーケットです。毎年、フリーマーケットは、会員同士や地域の人々との交流を深めるために高松宮邸前広場で開催されます。

昨年は会員による30ブースに加え、スリランカ大使館なども出店されて、いつもは静かな高輪のまちの一角はとても華やかでした。

伊皿子睦会の結成は戦前で、現在の伊皿子交差点付近は当時商店も多く、寺町でもあるため、金箔や漆などの工芸を扱う会社や足

袋、袋物を扱う店もあったそうです。

現在は、商店は少なくなりましたが、和菓子の松島屋さんは有名で、大福やお団子を買いに、遠くからお客さんが来られます。また、以前は、町会でお祭りに神輿がでたり、バス旅行もやっていたそうです。

現在、会長、副会長、防犯、会計など8名の役員で運営されています。

11月までは防犯パトロールを週3回実施し、年末は毎日、防災パトロールを実施しています。

きめ細かく会員の安全や安心を見守り、会員相互の心が通い合うよう努めているそうです。派手さはありませんが、熱心に町会活動を行っている伊皿子睦会にエールを送りたいですね。



ずっと続けている防災訓練



年末のパトロール



フリーマーケット



この街にこの人あり

シャンソン歌手 石井好子さん

今年で歌手生活六十四年を迎えられる石井さん。今も、姿勢のよさと抜群のスタイルを保ち、颯爽としている様子は圧倒されるほど。そんな石井さんに、長年に渡ってお住まいになっている高輪のこと、そして、健康ですてきな女性でいられる秘訣を伺いました。

お気に入りの散歩コースは御殿山

高輪には、昭和二十九年から住んでいます。それ以前は、ずっと大森に住んでいました。今と違って、ここに越してきた頃は、周りにはそんなに建物がなく、高輪プリンスが一軒、ぼつんとあるだけだったんですね。本当に変わりました。

私は、よく歩きます。今も毎日三十分、散歩をします。一番好きな散歩のコースは、ラフォーレ御殿山の庭ですね。きれいだし、落ち着いてますでしょ。あそこは、徳川家光が鷹狩りをする時の休憩の場だったんですね。ある日、散歩に行ったら、庭で三線（さんしん）の楽器を弾いている人がいて、いい光景でしたね。

港区は街をきれいにしていますね。フランス人の知人が、「ゴミがないので、びっくりしていました。街がきれいなことは大切なこと。汚れると豊かな気持ちにならなくなるよ。誇りにしなくちゃいけないと思います。」

姿勢がいいのは校長先生のおかげ

私は、府立第六校女（現在の都立三田高校）に通いました。当時は、共学ではなく女学校だったんです。運動がさかんな学校で、都内で唯一、二十五メートルの温水プールがありました。その当時の校長先生は、丸山文作校長先生とおっしゃって、すばらしい先生でした。「あなたたちは学校にいる時はしっかり勉強しなさい。家に帰ったら、それはあなたたちの自由な時間です」という方針でいらして、成績簿もなかった。今と違いますよね。

私が姿勢のいいのは、丸山校長先生のおかげなんです。先生が、歩くのを奨励されて、春や秋には四里、六里、十里と歩きました。それに、姿勢のことも厳しくおっしゃってね。友達と、体育館で歩くときの姿勢を先生がチェックされました。この前、クラス会があって、十人くらい集まったんですけど、みんな姿勢がいいんですね。最近、若い人がでれどと歩いているのが気になるわね。若い人には、きれいな街をさっそうと歩いて欲しいわね。



石井好子さん：シャンソン歌手。日本シャンソン協会会長。1922年生まれ。お父上は元衆議院議長石井光次郎氏。42年、東京音楽学校（現東京芸大）音楽科卒。戦後、ジャズに転向。51年、渡仏し、シャンソン歌手としてパリを中心にヨーロッパ各国の舞台に出演する。87年、紫綬褒章。90年、東京都文化賞。同年、日本レコード大賞特別賞。92年、フランス芸術文化勲章「コマンドール章」受賞。

歌が健康のみなもと

健康な理由ですか？歌をうたっているからですよ。いい発声で歌っているのは、深呼吸やっているのと同じ。声を出すのはいいんですよ。健康的な職業なのよね。

それに、七十代後半まで泳ぐのが趣味でした。六十五歳の時に、マスターズにも出て優勝しましたよ。八十歳を過ぎたら水を冷たく感じるようになってやめちゃいましたけどね。健康的な趣味をもっていたのもよかったですよね。今は、夜、寝る前三十分ストレッチ体操を必ずします。どんなに疲れていても必ずね。忘れて布団に入ってしまうと、気分がわるくて、もう一度起きて身体をのばします。

美味しかったものを真似してアレンジ

六十五歳を過ぎてから食生活に気をつけようになつてきましたね。食べることは、何より大切なこと。身体に入って、身体をつくることだから。料理はしますよ。今も、自宅にお客さんをお招きして、手料理でもてなすこともあります。どんなものを作るかって？外で食べて美味しいな、と思ったものを家で真似して作ってみるのよ。この前は、レストランで食べた梅干が入った「ロケ」を作りましたよ。じゃがいもと梅干、意外な組み合わせでももしろいでしょ。作り方は、とても簡単で、つぶしたじゃがいもの中に梅干をねり入れて揚げるの。そう、それだけ。簡単で美味しいし、みんなに評判がよかったですよ。

パリでの暮らしを書いたのが、「巴里の空の下オムレツ」においては流れる。昭和三十八年日本エッセイストクラブ賞受賞です。本の中で、オムレツをとりあげたのは、玉子が一番身近な食材だから。オムレツは、強火で手早く作ると上手くいくんです。すぐにできますよ。今もよく作ります。

歌うことによって社会に恩返しをしたい

私は幸せな家庭に生まれました。親にも、とても大切に育てられて、兄弟四人ともがみな仲良くね。だから、何か社会に恩返しをしたいと思っていました。歌うたくなるのではなく、社会奉仕の仕事につきたいと思っていた時もあるのよ。結局、歌手になつたけど、今は歌をうたうことによって、少しでも社会に恩返しをしようと思つて、毎年四月にチャリティーコンサートを開いています。

実は、昨日もコンサートがありました。今もコンサートで忙しくしています。春は、チャリティーコンサートがあるし、夏は私が始めたシャンソンの祭典、パリ祭がNHKホールであるしね。今年ももうすこし少なくなりたいわね。



クロスワードパズル 高輪縦横無尽

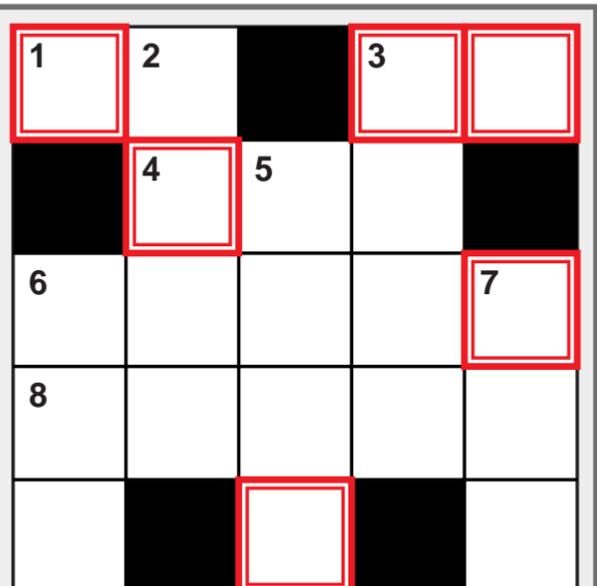
【出題科目】文学・歴史・地理・公民・化学

難易度：

町人度：



- 縦の鍵**
- 2 総合支所の前、蛸の名所だったことから 坂
 - 3 プラチナは白金、ニッケルシルバーは
 - 5 税務署からのお願い「 はお早めに」
 - 6 細川家下屋敷 に聳える椎は天然記念物
 - 7 瑞聖寺に葬られた夭折の 北村透谷
(S29.5没後60年祭を機に生誕地小田原の高長寺に移設)
- 横の鍵**
- 1 此花の色は白金名に高く 千歳を て実るこの梅【一遍】
 - 3 白金村は だらけ。天神坂を昔 見坂と言ったという説も
 - 4 測量隊、東海道測量の基点は高輪大木戸
 - 6 泉岳寺といえは
 - 8 最初の英国公使館が置かれたお寺



ヒント...完成する6文字は、この号のどこかにあります。答えは次号に

歴史を読む

最初のイギリス公使館

高輪東禅寺



現在、港区には数多くの大使館がありますが、そのルーツともいふべき日本最初の公使館は、やはり港区に多くありました。当時の公使館はどのような様子だったのでしょうか。

港区の港郷土資料館学芸員 吉崎雅規さんからお話をうかがいました。

高輪地区に集中する公使館

長い鎖国の扉が開かれた一八五九年以降、日本と条約を結んだ各国は最初の公使館、宿泊所の多くをこの高輪地区の寺院に置きました。

イギリス公使館(東禅寺)、フランス公使館(濟海寺)、オランダ公館(長心寺)、プロシヤの宿寺(広岳院)、スイスの宿寺(正泉寺)などです。

高輪地区に集中した理由は、高台の宿泊所から、自国の船が停泊・運行しているのが見え、開港した横浜と江戸幕府の中間の位置にあり、さらに、この地区に

立派なお寺が多く宿泊所に適していたからです。

イギリス公使館東禅寺

一八五九年からイギリス公使館として使われた東禅寺の様子はこんな風でした。

当時のイギリス公使オールコックが著した「大君の都」山口光朔訳(岩波文庫)によれば、東禅寺について「江戸でこれほど立派なところはない」、「これほど美しい草庵をえらべたことは幸いである」と、絶賛しています。

滞在した外交官は十人位で、広い東禅寺の一部の建物を公使館として使い、特に改装はしなかつたようです。まわりを幕府の警備の侍二百人以上で固めていました。したがって、お寺のお坊さんとは、顔を合わす機会はほとんどなかつたようです。

東禅寺襲撃事件

しかし、平穏な日々は続かず、

相次ぐ襲撃事件が発生しました。一八六一年、東禅寺は、十数名の水戸藩士により襲撃されましたが、警護に当たった武士は、襲撃者と激しく戦い、撃退しました。

さらに、一八六二年、東禅寺の警護を命じられていた松本藩の藩士が槍を携え、単身東禅寺に侵入、イギリス伍長一人を殺害、歩哨一人を傷つけ、松本藩邸に戻り、切腹しました。

これらの事件の後、イギリスは、東禅寺から引き払い、泉岳寺近くの場所に接遇所を設け公使館の業務を行いました。

東禅寺について

東禅寺の住職さんから当時の東禅寺の様子をお聞きしました。

江戸末期の東禅寺の敷地の広さは現在の倍以上の二万七千坪(約九万㎡)もあつたそうです。今の第一京浜国道からずっと参道が続いていました。

当時の建物は、関東大震災で大きな被害を受け、昭和八年にすべて建て直しました。

東禅寺側としては、当時、やや奇異な目で見られていた外国人を受け入れ公使館に使われることは、ありがたいことでした。それに、警護のため、敷地内



錦絵に描かれた高輪地区の外交官達の行列
「諸国名所百景 東都高輪海岸」(歌川広重(2代)画、港郷土資料館蔵)

の樹木が多く伐採され、さらに、伊達家、池田家など有力大名の御霊堂に、土足でイギリス人が踏み入れたので、ある有力大名家は、檀家を離脱したそうです。また、相次ぐ事件の発生で、お寺のイメージが下がり、大変な思いをされたようです。

当時の住職の日記が保存されておりますが、あまりイギリス人のことについては触れられていません。

公使館として使われた建物があつた位置に、現在も建て替えられた建物がありますが、広い池がある美しい庭園に面しており、素晴らしい眺めであつたと想像されます。



東禅寺山門より見た参道と品川の海
「ファー・イースト」
1873年1月16日号
東京都写真美術館蔵



◀現在の東禅寺
(公使館のあつた場所の建物と庭園)

わたしたちの街の 巨木・保護樹木

高輪地区を散歩していると、見上げるような大きな木や、ずい分と年齢を重ねたと思える貫禄のある木を、よく目にします。

これらの木は、地域のシンボルとして今後も保全していく必要があります。現在、高輪地区には261本の保護樹木があります。今回は、公開されている主な巨木・保護樹木を紹介します。



3

保護樹木の銀木犀 (大松寺)

大松寺には、保護樹木に指定された樹木が五本生育しています。門をいってすぐ目につくのが、大きなギンモクセイ。このギンモクセイは4株立ちで、高さ約10m、幹周り約3mの保護樹木です。大松寺では、秋にはギンモクセイの白い花と香りを楽しむことができます。



1



2

保護樹木の欒(大松寺)

大松寺の斜面地には大きなケヤキの保護樹木が生育しています。このケヤキは、高さ約15m以上、幹周り約3.6mある巨木です。ケヤキは、日本を代表する落葉高木で高さ50m、直径5mに達するものもあります。独特の逆ぼうき状の樹形は、紅葉が美しく、落葉後の冬姿も美しいとされています。

おろち
大蛇の松
(国立科学博物館附属自然教育園)
自然教育園は、旧白金御料地として、国指定の天然記念物及び史跡に指定されており、多くの自然が残されています。大蛇の松は、自然教育園内に残されているクロマツで、高さ約26m、幹周り約4.2m、樹齢約300年の巨木です。いつの間にか大蛇の松と呼ばれるようになったそうですが、斜めに大きく伸びているその姿は大蛇を連想させます。



4

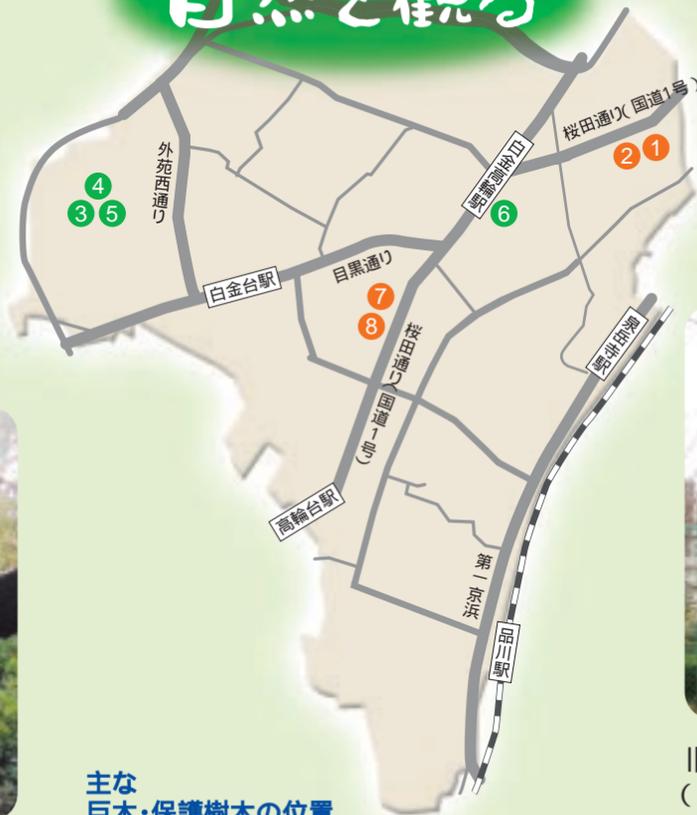
物語の松(国立科学博物館附属自然教育園)
物語の松は、高さ約22m、幹周りが約4mもある特徴的な姿をしたクロマツです。この老松は江戸時代松平頼岐守の下屋敷の面影を伝えるもので、近くのひょうたん池などと共に回遊式庭園の一部であると思われています。



5

むくのき
棕木の巨木 国立科学博物館附属自然教育園)
自然教育園には、ムクノキも多く生育していて、高さ約26m、幹周り約4.9mの巨木があります。ムクノキは樹皮に浅い筋があり、灰白色のきれいな幹をしています。この巨木は大きく成長して樹皮が剥がれています。実は黒く熟すと食用となり、甘味があっておいしい味となります。また、葉は両面がざらつき、漆器や角細工などを磨くのに使われる事もあります。

自然を観る

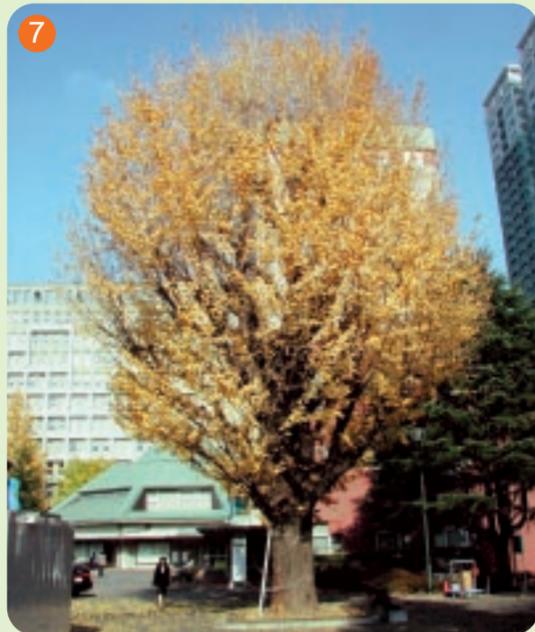


主な巨木・保護樹木の位置

= 巨木 = 保護樹木

保護樹木の銀杏(明治学院大学)

保護樹木に最も多く指定されている樹種がイチョウです。明治学院大学のキャンパスにも保護樹木のイチョウが多く生育しています。写真のイチョウは、高さ約18m、幹周り約4.7mの巨木でランドマークとしてキャンパスにそびえ立っています。



7



6

旧細川邸の椎 (高輪地区総合支所)

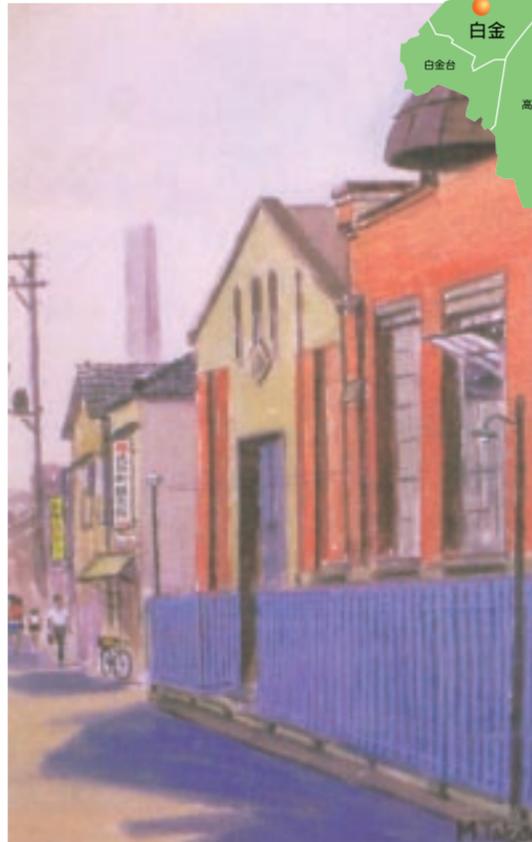
旧細川邸のスタジイは、東京都指定天然記念物で、高さ約11m、幹周りが約8.1m、推定樹齢300年以上の巨木で、根元は古木の雰囲気良く出ています。かつては、もっと背の高い樹木でしたが、落雷により、幹内部が焼けこげ、さらに、幹の下部に空洞があったため、昭和56年に大規模な外科手術が施されました。旧細川邸は、かつて肥後熊本藩細川家の下屋敷があった場所で、ここで大石内蔵助ら17名の赤穂浪士が切腹しました。現在、この屋敷跡は、東京都指定旧跡に指定されています。



8

保護樹木の銀杏並木(明治学院大学)

正門を入ったところには、見事なイチョウ並木があり、これらも保護樹木に指定されています。この並木は、高さ約15~20m、幹周り約1.7~2.5mほどのイチョウで構成されており、秋の紅葉には一段と美しさを増します。



戦後すぐの白金志田町の風景(絵:故 高寺正雄画伯)

町工場の歴史と職人達



古川の流域に沿った白金・高輪・三田地区に、明治時代から町工場がで、次第に発展してきました。白金に生まれ、職人として修業し、その後、独立して工場の経営者として活躍された渡邊義信さん(85歳)がこの地区の町工場発展の歴史と、戦前の職人達の活躍について、お話をうかがいました。

町工場の歴史

(明治～大正時代)

港区の工業は明治二十年代後半の日本工業界の黎明に伴って始まりました。この界限でも、旧白金三光町を中心として、明治の後期から大正時代にかけて、古川の河川沿いの志田町、麻布、三田地区などに町工場ができました。第一次世界大戦が終わる頃には、三田五丁目の大塚鉄工所などを皮切りに、金属加工工場が増え、関東大震災の復興期を境に、さらに工場が増えてきました。

企業合同などで大きくなった工場の多くは、大田区方面に移転していきました。町工場から大企業に発展した例も多々あります。

町工場の歴史

(昭和初期～戦後)

満州事変、上海事変など軍事事変が重なるにつれ、大企業も発展し、町工場も協力工場として、忙しくなっていました。

しかし、第二次大戦後は、白金・高輪・三田地区においても、9割以上が焼け野原となり、工作機械も焼け、機能しなくなりました。そんな焦土の中、町工場の経営者達は、大企業に先がけ、いち早く立ちあがり、機械も修理し、力強く戦後の復興に努力をしました。その姿が日本の工業の発展に寄与したことは言うまでもありません。

修理といっても、資材も得難く、技術者、職人、工員達も未だ戦場から帰ってきていない時代のこと、大変な苦労があつたようです。その後、白金・高輪・三田地区は東京の製造業の地域として、成長し、規模や軒数を拡大して隆盛を極めました。

戦前の職人達の生活

14～15歳ごろから工場に徒弟として住み込み、見習いとして修業を重ね、20歳の徴兵検査を終えると、一人前の職人としての仕事に就きました。それ故に、成人となった気構えが戦前の人と現代の人とは違うようです。検査が終わった大半のものが、陸海軍の軍人として、約2～4年間の軍隊生活を送り、再び職人として、元の親方の工場に、就業したのが当時の現況でした。その後、個々の技量によつては、独立して一企業を構えるものもいました。

また、職人は工場主のことを「親方」、奥さんをおかみさんと呼び、親しく、家族の一員のような意識で働いていました。住み込みの見習い工員は、小さい工場では2・3人、大きな工場では50数名もいるところもありました。これらの工場の住み込み工員達は地方から大志を抱いて上京した人が多かったようです。

伝説の職人

伝説の職人と言われ、後世まで「職人の鏡」として語り継がれている方を紹介したいと思います。

ヤスリ屋の源さん

昭和の初期に、ヤスリ屋の源さんという名人職人がおりました。ヤスリ屋の源さんが打った手打ちのヤスリは、ヤスリを使って仕事をすると、源さんのヤスリを一度使ったら他のヤスリは使えねえよ」という位すばらかったそうです。根気を込めてタガネを打ち込み、まるでヤスリが一つの芸術作品であったそうです。また、この白金地域は江戸火消しのいろは48のさ組で、源さんは、さ組の小頭こがしらでした。「火事だー」の一声があると、どんな作業中であっても飛び出していった、気風のような人物であったと聞いています。

三十三の留さん

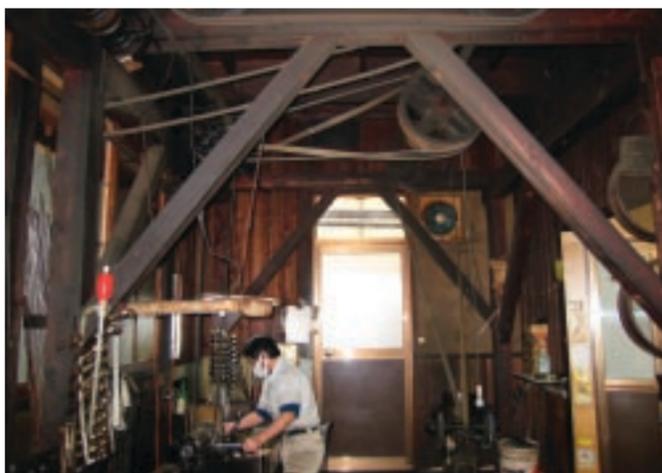
「三十三の留さん」は鋳物で出来上がった変形工作物の旋盤加工に於けるフラットと称する四方締め

を利用して旋盤作業に必要な鉛型を改良した有名な人です。留さんは、真面目一筋の真の職人で、「俺は、小学校をやつと終わらせることができたんだ」というのが口ぐせでしたが、「画期的な道具を工夫した職人でした。」

広沢虎造さん

「食いねえ、食いねえ、寿司食いねえ」の森の石松で有名な浪曲師、広沢虎造さんは明治32年生まれです。三光町(現在の高輪消防署白金出張所付近)にあつた鋳物工場の職人として働いていた時代もあつたと聞きます。その当時、この付近には鋳物工場が数軒存在していました。近所の工場の人に浪曲をうなつて楽しませたこともあつたそうです。

白金高輪地区の町工場は、このような素晴らしい職人達の技術や工夫により発展してきました。



◀伝統的な工法で金属加工をしている工場

前号に引き続き、民法の遺言について解説します。

連載コラム「民法法律物語」No.4

「私たちに遺言とは」

「秘密証書遺言」とは

最後に秘密証書遺言(民法970条)についてお話しします。

これは遺言者が、遺言書に署名・押印をすればいいので、全文を自筆で書く必要はありません。ただ全文を自筆で書いておけば、自筆証書遺言としても取り扱われますので、無効となってしまう危険は防げます。

この遺言書を封書に入れ、遺言書に用いた印鑑と同じ印鑑を封書に押し封印することが必要です。そして公証人及び証人2人以上の前に封書を提出し、自分の遺言書であること、遺言書を作成した者の氏名と住所を申述します。そして公証人がそれらを書き留めることの手続き等を経て、有効な遺言書となるものです。

この場合は、遺言書を作成した人以外には誰も遺言書の内容は見えないので、遺言者が亡くなり、検認の手続きがとられるまでは、その内容は、誰にも秘密にできるのです。秘密証書遺言といわれるのです。なお検認の手続きというのは、家庭裁判所に遺言書を持参し、裁判所で、遺言書を開封してもらい、どのような遺言書が入っていたのか等を確認する手続きであり、遺言書が有効であるとか無効であるとかを確認する手続きではありません。ただこの手続きを経ないと5万円以下の過料の罰則があり(民法1005条)、無効な遺言だと争われる可能性を残すことになりしますので、気をつけてください。

遺言では、今まで貢献してくれた子供に多く財産をやつたり、あるいはひどい仕打ちをしてきた子供を推定相続人から廃除したり、自分の遺言を実現する遺言執行者を選んだりといろいろなことが出来ます。興味のある方はぜひ本などを学んでみてください。

これで、民法の遺言についての解説は終了いたします。

弁護士 井上 寛
事務所 井上法律事務所
東京都八王子市

港区 風の子サッカークラブより プロ第1号誕生!!

高輪・白金・三田の地区の小学生が多く参加している「風の子サッカークラブ」の試合を芝給水場少年サッカー場に見学に行きました。ちょうど、秋の大会の決勝戦が行われていました。風の子サッカークラブは、健闘の末、1対0の惜敗で準優勝でしたが、動きの早い洗練されたチームでした。

クラブは、40数年前、三田在住の女性、林テツノさんがご自分の息子さんの健全な成長を願い、地元の応援もあって立ち上げたとのこと。その頃は、まだ、サッカーも今ほど、人気のあるスポーツではなかった時代でした。林さんの息子さんは、現在コーチとして、家業のうなぎやさんのかたわら、後輩の指導やクラブの運営を行っています。

クラブからは最近、J1の川崎フロンターレに、木村祐志選手(20才、三田在住)が、ミッドフィルダーとして入団することができました。地元の大いなる希望と喜びの誕生です。木村祐志選手は芝浦小学校の出身で、風の子サッカークラブでは欠かせないレギュラーメンバーとして熱心に練習や試合に参加していました。

クラブは、小学校5、6年のAチーム、4年のBチーム、3年のCチームに分れており、どのチームも毎年よい成績を残しています。部員はAチームで20名位、高輪地区の他、麻布地区や芝浦地区の小学生もいます。練習は週5回、2時間程度です。クラブのOBの方が主に指導されています。試合では、作戦やフォーメーションもあり、小学生でもなかなかレベルが高いようです。

試合後、6年生キャプテンに話をききました。

負けたのでやや気落ちした表情でしたが、しっかりとした口調で答えてくれました。敗因は、相手がやや学年が上の小学生が多かったこと、こちらの決定力不足などをあげていました。彼は、3年の時まで、アメリカにいて、サッカーをやっていたそうで、英語もできるそうです。将来もサッカーを続けて、スポーツ、学業とも両立してやっていきたいとのこと、頼もしい少年でした。



決勝戦 緑のユニフォームが「風の子サッカークラブ」

メンバー募集
風の子サッカークラブは、3才児から中学生までを対象としています。週5日ある練習ですが1日でも2日でも都合の良い日を選んで参加することもできます。興味のある方は下記までお問い合わせください。
電話 3452-6046
林さんまで

大使館探検隊 **番外編**

アイスランド大使館体験イベントに参加して

この高輪地区情報紙がアイスランド大使館の記事を取り上げたのがきっかけの一つとなり、2007年10月24日、25日に、アイスランド体験イベントである「ここから始まるアイスランド」がアイスランド大使館で開催されました。同時に、高輪地区総合支所1階ロビーで約2週間、冒険家番場健司さん自作の三輪車ピークU(水素エネルギーの燃料電池を動力とする)が展示され、大勢の方が熱心に見入っていました。

このイベントは、アイスランド大使館と高輪地区総合支所の共催で、エコロジー先進国アイスランドの食と文化の紹介、及び大使館と地域との交流を目的としました。当初10月24日の1日みの開催という予定でしたが、参加希望者が多数いたため、2日間にわたって開催されることになったということです。約1/3の方が港区民でしたが、ホームページを見て、京都から参加の人もいて、驚きました。

始めに、番場健司さんによるアイスランド周回走行の体験談とDVD映像の放映があり、一緒にアイスランド島を回ったような気分になりました。

お待ちかねの立食形式の食事は、前菜、ラムのシチュー、オオカミウオのフライ(淡泊な白身魚)などが出ました。アイスランドから空輸されたラムはくせもなく、おいしくいただきました。



食事の後は、ワイン片手にあちこちで話の輪ができ、番場さんやアイスランドに行かれた方のお話を聞くなど楽しいひとときでした。

最後に抽選会があり、航空券やCD、辞書などが当たった方もおられました。このように、大使館を会場にして一般の方を招待するというイベントは珍しく、また、地域の住民にとっても、大使館が身近に感じられるよい機会となりました。

これからもアイスランド大使館体験イベントが何回か開催される予定です。関心のある方は、ホームページをご覧くださいとのこと。



体験談を語る番場さん

アイスランド大使館
住所 港区高輪4-18-26
電話 03-3447-1944
ホームページ
<http://www.iceland.org.jp>

高輪発

マダムミムラの



簡単でも本格風
料理教室



ハンガリー風牛肉煮込み料理 (4~5人前)

<材料>

- 牛肩ロース肉またはシチュー用600g1口大切り
- じゃがいも(小)丸ごと 約400g
- トマト 2個ざく切り
- 玉ねぎ 1個うす切り
- にんにく 1片2つに切り、芽を除きみじん切り
- ビール 1.5カップ
- オリーブオイル 大さじ1
- ブーケガルニ(ロリエ、タイム、パセリのくき等、乾燥物も可)
- パプリカ 小さじ2
- 塩・こしょう 少々
- 小麦粉 小さじ1

<作り方>

- ・小麦粉を肉全体にごくうすくまぶし、オイルで色づけ焼いてとり出しておく。
- ・その後玉ねぎを入れ色づけて炒め、トマト、にんにくを加え肉を戻す。
- ・塩、こしょう、ブーケガルニ、パプリカを加えよく混ぜ合わせて、さらにビールを加える。また、水を具ずれすれまで加える。
- ・沸騰させて、火を弱め、肉がやわらかくなるまで煮る。出来上りの水分は少なめ。
- ・じゃがいもを加え、柔らかくなるまで煮る。
- ・適宜、水をたす。

<ひとくちアドバイス>

ビールは残り物でも大丈夫。肉を焼いたフライパンは洗わずに玉ねぎを入れてください。アスパラガスやインゲンのサラダなどと一緒召し上がっていただくと、美味しいと思います。

三村真喜子さん

東京・高輪で30年以上フランス料理教室トゥロワ・ヴィラージュ主宰。フランスの国立ホテル学校に留学し、ホームステイをしながら、フランス料理を学ぶ。フランス料理を基礎からしっかり学んだ経験を生かし、日本人に無理なく作れる本格レシピを紹介している。

みなとコール(港区コールセンター) ☎5472-3710

区役所のサービス内容の案内、催しの情報などの定型的なお問い合わせにお答えします。

港区文化芸術振興基金助成事業

第3回 高輪音楽祭

春を呼ぶ若人の演奏! 高輪合唱団の歌声!
そして、夢を誘うプロの歌手によるクラシックの名曲!

日時:平成20年3月15日(土)午後1時30分開場 午後2時00分開演
開場:高輪区民センター区民ホール(車でのお来場はご遠慮ください)
入場料:無料
内容:1部 高松中学校吹奏楽部演奏 「オーメンズ オブ ラブ」他
2部 高輪合唱団による混声合唱 「千の風になって」 Believe 他
指揮 崖 圭子 ピアノ 田中智子
3部 オペラ名場面集 オペラ アリアと重唱
ソプラノ 丸山真須美 金見美佳
メゾソプラノ 見崎千夏
ピアノ 中西のみ子
問い合わせ:高輪音楽祭実行委員会事務局
電話 3440-4066

「ミニ法律相談会」を開催します

明治学院大学(法学部士業倶楽部)・高輪地区総合支所が連携し、専門家(弁護士・税理士・司法書士)による無料相談会を行います。

対象:区内在住・在勤・在学者
とき:2月20日(水)午後6:00~午後8:30(1人30分以内)
ところ:明治学院大学白金校舎 本館1357教室(港区白金台1-2-37)
内容:明治学院大学法学部出身の弁護士、税理士、司法書士が相談を受けます。遺言、相続、金銭問題、登記、土地境界、税務、労働関係、離婚、著作権、特許、商標などお悩みのことをお気軽にご相談ください。
定員:5人(申込順)
費用:無料
申し込み:2月12日(火)午前9時から受付
電話で「みなとコール」へ「ミニ法律相談会」と言ってください。(電話 5472-3710)
資料のある方は、当日ご持参ください。
現在係争中の案件、刑事、民事介入暴力、少年事件は受け付けられません。
問い合わせ:高輪地区総合支所地区政策課(4階)
電話 5421-7123

「チャレンジコミュニティ大学」第2期生募集のお知らせ

平成20年4月に開講する「チャレンジコミュニティ大学」第2期生を募集します。

この大学は、高齢者や高齢を迎える人(60歳以上の方)を対象に、今まで培ってきた知識・経験・能力などを地域に活かし、地域コミュニティの活性化の要となる地域活動のリーダーを育成することを目的としています。

大学の運営は、港区と地域にある明治学院大学とが連携して行い、学習をする設備環境などの整っている明治学院大学の校舎を使用し開設しています。

1年間のカリキュラム修了後には修了証を発行し、「修了者ネット」に登録していただき、地域活動に積極的に参加が図れるよう、修了者専用のホームページや機関紙などでボランティア等の情報提供が受けられる仕組みになっています。

対象:社会福祉増進の意欲や地域コミュニティの育成などに熱意のある人で次のいずれか 60歳以上の区民 区内在住の民生委員
入学式:4月12日(土・予定)
受講期間:1年間 週1回/2時限(1時限90分)約40日
学習内容:社会参加・健康増進・一般教養・郊外学習など
講師:明治学院大学教授ほか

学舎:明治学院大学(白金台1-2-37)
受講者:60人 費用:2万円
申し込み:申込みのしおりは、2月7日(木)から、各総合支所くらし応援課や福祉会館で配布します。申込書と、抱負(400字程度)を書いて、直接または郵送で2月29日(金・必着)までに、〒108-8581 高輪地区総合支所くらし応援課保健福祉係へ。詳しくは、申込みのしおりをご参照ください。
問い合わせ:高輪地区総合支所くらし応援課保健福祉係(5階)
電話 5421-7085



講義風景



自然探索

平日(水曜日)の窓口延長、土曜日の開庁等窓口サービスを充実させます

全総合支所くらし応援課一斉に
平日(水曜日)午後7時まで
窓口開設時間を延長します

平日窓口開設時間の延長

実施時期:平成20年4月から
実施曜日:毎週水曜日(但し、祝日、年末・年始、3月31日と4月1日を除きます)
開設時間:午後7時まで
開設する窓口と取扱業務 *台場分室を除きます
《窓口サービス係》
転入・転出・転居届の受付、転入・転出・転居に伴う国民健康保険、介護保険の手続き
住民票、戸籍記載事項証明書の発行
印鑑登録・証明書の発行

証明書自動交付機カードの発行
戸籍届出の受付、埋火葬許可書の発行
小中学校の転入学通知書の発行
区税の申告・納付、納課税証明書の発行
軽自動車の登録・廃止
仮ナンバーの交付・返却
外国人登録原票記載事項証明書の発行
ご注意
転入手続きのうち「海外からの転入」、「住所設定」、「転出証明書が無いとき」などは受付できません。通常の開庁時にお届けください。
戸籍届出は『受領』扱いとなります。受理証明書は後日に発行します。
《保健福祉係》
児童手当の申請受付
子ども医療費助成の申請受付

土曜日開庁を実施します
(芝地区総合支所のみ)

転勤や入学・就職などで転出入の多い3月最終土曜日と4月最初の土曜日には芝地区総合支所の窓口を開設します。

土曜日窓口開設

3月29日・4月5日の午前8時45分から午後5時まで。
芝地区総合支所の窓口サービス係・保健福祉係・外国人登録係の窓口を開設します。取扱業務は平日窓口延長時と同様です。
問い合わせ
高輪地区総合支所くらし応援課窓口サービス係(5階)
電話 5421-7612

編集だより

今回、新たに、現代で薄れつつある町工場の職人気質をご紹介します。また、クロスワードパズルや料理教室など親しみやすいコーナーを作り、少しずつ、話題を広げようと努めました。(洋)

インタビュールでお会いした石井好子さんのカッパよさに感動。やはりストレッチと姿勢は大事と実感しました。ピリーさんから、ストレッチに鞍替えして春をめざします!(由)

保護樹木をたずねて気づいたことは、かつて大きな武家屋敷や寺社などがあつた所に、現在も貴重な樹木や樹林が残されていたことです。自然の中に歴史ある高輪を見ることができ、今後も探して行きます。(貢)

- 渡邊 義信
安 勢津子
森 國弘
鈴木 園江
鈴木 奎子
齊藤 由美
河村 保弘
川上 裕子
大場 由里
生田 優子
安藤 まりえ
中嶋 路子
安達 貢
安藤 洋一